

テーマ

鳥取県におけるライフステージ別の食生活研究

発表者

野津あきこ 鳥取短期大学 教授

概要

本研究では本助成等による調査研究の成果を活用し、鳥取県における中高年及び子どもや20~30歳の若い世代などライフステージ別の食の課題を整理し、健康づくりや食育に関する施策への支援および効果的な栄養指導の方法など総合的に食の研究をすすめることを目的とする。

背景と現状

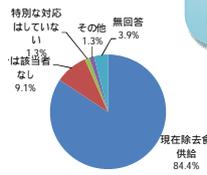
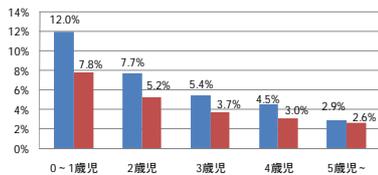
県の食生活に関わる健康づくり施策は「健康づくり文化創造プラン」や「食のみやことっとり～食育プラン～」等。特定健診・保健指導もスタートした。鳥取県は生活習慣病を主要因とする死因が、全国平均より高い。

研究活動・活動内容・調査結果等

目的

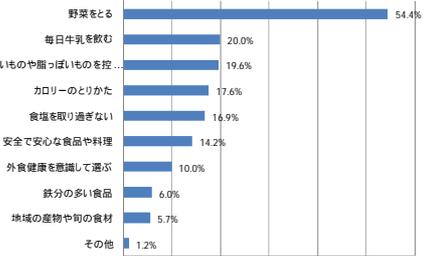
県内食生活調査の実施および基礎資料を効果的に活用するための検診多職種・他職域の健康や栄養に係る専門家が連携をとるための食環境整備

保育園・幼稚園の食物アレルギー給食対応
対象：鳥取県内の公立および私立の保育園・幼稚園
回収率 64.2% 240施設中154施設から回答あり

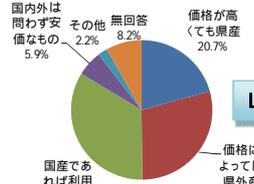
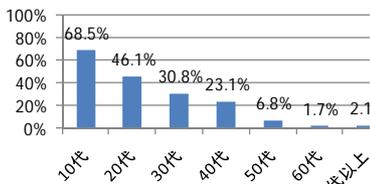


高校生と保護者の食育アンケート
「食育を考える研究会」鳥取県高等学校教育振興会助成事業

対象：中部地区高校生 回収率97.3% 配布数3,053人、回収数2,972人 保護者 回収率60.3% 配布数2,788人、回収数1,681人



食の安全・安心を考える 外食・中食・調理冷凍食品に関するアンケート調査「とっとり県消費者の会」
対象：一般県民 回収率89.5% 配布数929人、回収数831人



山陰小児・ヤング糖尿病食事療法研究会等

- ・小児・ヤング糖尿病食事療法研究会の開催 食の安全をめぐる最近の話題、食の安全・安心を考える他 (H20/10/12)
- ・小児糖尿病大山サマーキャンプ (H20/8)

おわりに

20年度は、県内の幼稚園、保育園の食物アレルギーの給食対応、県民の食の安心・安全や地産地消にかかわる意識調査や中部地区高校生の食育についての調査や及び調査協力を行った。各種組織との協力体制をとることで結果を効果的に活用できる調査研究ができた。

【来場者へのメッセージ】鳥取県の健康づくり施策「健康づくり文化創造プラン」「食のみやことっとり～食育プラン～」(いずれも平成20年4月策定)等を推進します。

連絡先：鳥取短期大学生生活学科食物栄養専攻 教授 野津あきこ

倉吉市福庭854 TEL.0858-26-1811 E-mail: anotsu@ns.cygnus.ac.jp

分野

その他(栄養・食生活)

プレゼンタイム

有 (無)